

ベトナム経済の成長と東南アジアでの位置づけ

2025 年 3 月 7 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナム経済の成長と東南アジアでの位置づけ

2024 年、ベトナムの GDP は 4680 億ドルに達し、アジア全体で 14 位、東南アジアでは 5 位にランクインしている。東南アジア地域では、インドネシア（1.4 兆ドル）、シンガポール（5310 億ドル）、タイ（5290 億ドル）、フィリピン（4700 億ドル）に次ぐ規模となり、ベトナム経済の持続的な成長が明らかになっている。

ベトナム経済の拡大は、製造業、輸出、外資誘致の成功によって支えられており、特に電子機器、繊維、農産品などの分野での成長が顕著である。近年、多国籍企業の投資が加速し、ベトナム国内のサプライチェーンが強化されている点も、さらなる成長を後押ししている。アジア全体では、中国が 18.3 兆ドルの GDP で圧倒的な経済規模を誇り、日本（4.1 兆ドル）、インド（3.7 兆ドル）が続く。これら 3 カ国だけでアジア経済の約 66%を占めており、韓国、インドネシアを含めたトップ 5 で 74%に達する。

また、中東諸国であるサウジアラビアやアラブ首長国連邦も、石油・天然ガス資源を活用し、経済成長と国際的な貿易関係を強化している。こうした中、ベトナムは持続的な成長を遂げ、地域経済において重要な役割を果たしつつある。

ベトナムは、製造業やデジタル経済の拡大、さらには持続可能な開発を推進し、今後のさらなる成長を目指している。近年の投資環境の改善や自由貿易協定（FTA）の活用により、ベトナムはアジア経済の中でより重要な位置を占めるようになっており、今後の発展が期待される。

以上